

単元名・教材名		戦争と人間の生き方をえがいた本を読み広げよう 「ヒロシマのうた」 東京書籍 国語 6 年下			
単元のねらい	○関連するテーマの本を進んで読もうとする。		(関心・意欲・態度)		
	○登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめることができる。		(読む) (1) エ		
	◎本や文章を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができる。		(読む) (1) オ		
	○戦争と人間の生き方についての本を複数選び、比べて読むことができる。		(読む) (1) カ		
	○語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもって物語を読むことができる。		(伝国) (1) イ (カ)		
<b>本単元における学習活動</b>					
・一つの物語をきっかけにして、関連するテーマの本を読み広げ、読書感想文 (①強く印象に残った場面や言葉 ②人物の生き方 ③最も強く語りかけてきたこと) を書く。					
<b>指導計画・評価規準</b>					
段階	単元	目標	主な学習活動	具体的な書く活動	評価規準 (評価方法)
見通す	1	・学習のねらいを確かめ、学習の見通しを持つことができる。	・「戦争と人間の生き方」をテーマとした読書感想文を紹介し、読書感想文のイメージを持つ。 ・物語を読んで初発の感想を交流する。 ・学習の計画を児童といっしょに立てる。 ・並行読書をして、読書感想文を書くことを知る。	・物語が最も強く語りかけてきたことを中心に初発の感想を書く。 ・学習の計画を書く。	【関意態】(発言・行動観察) 単元の学習のねらいを知り、読書感想文を書こうという意欲を持つことができる。
	2	・印象に残った場面や言葉をまとめることができる。	・印象に残った場面や言葉を自分の言葉でまとめる。	・印象に残った場面や言葉を考え、選んだ根拠を書く。	【読】(ノート・発言) 物語を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。 【言】(ノート・発言) 語感、言葉の使い方に対する感覚などについて関心をもって物語を読むことができる。
深める	3	・ヒロ子の生き方をまとめることができる。	・ヒロ子の生き方を自分の言葉でまとめる。	・ヒロ子の生き方を自分の言葉で書く。	【読】(ノート・発言) 物語を読んで考えたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。
	4 (本時)	・根拠をおさえて物語が最も強く語りかけてきたことをまとめることができる。	・根拠をおさえて物語が自分に最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめる。	・根拠をおさえて物語が最も強く語りかけてきたことを自分の言葉で書く。	【読】(ノート・発言) 根拠をおさえて物語が自分に最も強く語りかけてきたことを発表し合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。
まとめる	5 6	・テーマに沿った本を選び、読み進めることができる。	・戦争と人間の生き方を描いた本を読む。	・①強く印象に残った場面や言葉、②人物の生き方、③最も強く語りかけてきたことを考えて読み、メモに書く。	【読】(ノート・行動観察) 作品の主題を考えながら、同じテーマを取り上げた複数の本を比べて読んでいる。
	7 8	・読んだ本の感想を書き、交流することができる。	・観点に従って、読んだ本の読書感想文を書く。 ・グループごとに読書感想文を読み合い、自分が考えたことを交流する。	・読んだ本の読書感想文を書く。 ・友達の読書感想文を読み、自分が考えたことを書く。	【読】(ノート・発言) 読書感想文を読み合い、自分の考えを広げたり深めたりしている。

**本時の指導**・・・・・・ **目 標** 物語が最も強く語りかけてきたことをまとめることができる。

		展	開
段階	学 習 活 動	指 導 方 法 や 留 意 点 (○教師の働きかけ ■書く活動 ◇評価)	
つかむ (5分)	1 前時想起	○前時に学習したヒロ子の生き方について考えたことを振り返る。	
	2 課題把握 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     物語が自分に最も強く語りかけてきたこととその理由を自分の言葉でまとめよう。                 </div>	○本時の目標を確認させる。	
深める (25分)	3 学習の見通し ・課題を解決するために見通しを立てる。	○課題を解決するための方法を確認し、見通しを持って、一人学び (①物語が最も強く語りかけてきたことをまとめる②考えた理由をまとめる。) ができるようにさせる。	
	4 一人学び ・課題について、自分の考えをまとめ、ノートに書く。 ① 物語が最も強く語りかけてきたことをまとめる。 ア 困難や悲しみを乗り越えて力強く生きること。 イ 戦争は大変悲惨なことであり、二度と起こしてはならないこと。  ② 考えた理由をまとめる。 ・理由は、(ヒロ子ちゃんは、その名札を胸のところにおさえて、私の方を見ると、にっこり笑って「あたしお母さんに似ていますか。」と言うのです。) という文から、お母さんの死を受け止めて、がんばってこうとするヒロ子の気持ちが伝わってくるからです。 ・理由は、(ワイシャツのうでに、小さな、きのご雲のかさと、その下に、S、Iと、わたしのイニシャルが水色の糸でししゅうしてあるのです。) という文から、きのご雲をししゅうしたので、戦争をしつかりと受け止め、強く生きていこうとするヒロ子の決意が感じられるからです。	■物語が最も強く語りかけてきたことを書く。 ○短い言葉でまとめるようにさせる。 ○書き出せない児童には、ヒントカード(ヒロ子の心が変わった文から考えさせる)を渡し課題解決させる。 ○早く終わった児童には、もう一つ考えさせる。  ■考えた理由を書く。 ○文中の言葉や文を根拠にして、理由を書くようにさせる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>◇具体的評価規準(読む能力)</b>                          ・根拠をおさえて物語が自分に最も強く語りかけてきたことを自分の言葉でまとめ、考えを広げたり深めたりしている。  <b>支援の手立て</b>                          ・書き出せない児童には、ヒロ子の生き方を考えるように助言する。                     </div>	
	5 全体交流 ・一人学びしたことを発表して交流する。	○次の視点をもって、交流するようにさせる。 ①強く語りかけてきたことが同じだが、理由が違う。 ②理由は同じだが、強く語りかけてきたことが違う。 ③新たに気づいたこと 友達の発表は、必要に応じて随時メモさせる。	
まとめる (15分)	6 各自のまとめ ・課題に対する自分の考えをまとめる。	■課題のまとめを書く。 ○自分の考えで足りないところや、参考にしたい考えなどを付け足すようにさせる。	
	7 まとめの交流と音読 ・自分のまとめの発表をする。 ・音読をする。	○新たに気づいたことを書いている児童を中心に発表させる。 ○自分のまとめたものと比べながら聞くようにさせる。 ○根拠として一番多く出てきた文を音読させる。	
	8 振り返り ・自分の読み方について自己評価する。	○課題が達成できたかどうか(◎ ○ △) 三段階で自己評価させる。	
	9 次時予告	○次時からは、戦争と人間の生き方を描いた本を読み、読書感想文を書いていくことを伝える。	